

研究成果報告書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		アジアにおける自動車リサイクルの実態調査-中国とその周辺国の関係性を中心に-			
研究テーマ (欧文) AZ		Study for International Automobile Recycling System in Asia: Relations between China and Neighboring Countries.			
研究氏 代 表 名 者	カナ CC	姓) ナカタニ	名) ユウスケ	研究期間 B	2006 ~ 2008 年
	漢字 CB	中谷	勇介	報告年度 YR	2008 年
	ローマ字 CZ	NAKATANI	YUSUKE	研究機関名	神奈川大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		神奈川大学経済学部助教			
<p>概要 EA (600字~800字程度にまとめてください。)</p> <p>本研究は中国とその周辺国との関係性から、自動車リサイクルに関して国際的な調査を試みたものである。2007年には161万台以上の中古車が輸出されている。しかし中国では現在でも自国産業保護や環境問題などを理由に中古車の輸入を規制している。中国と中国を取り巻く周辺国との経済的な関係性を考えると、中古車は資源として移動している可能性があるのではないかとというのが本研究の出発点である。</p> <p>自動車は「金属資源の宝庫」とよばれるだけに、鉄をはじめとした金属の回収のためにリサイクルがおこなわれる。ここ1~2年の間に資源価格が高騰し、いわゆるバージン資源のみならず金属スクラップの価格まで高騰が始まっている。この高騰の原因の一つとしてあげられるのが中国の経済成長である。そこで、中国の周辺国のなかでも、ロシア、ベトナム、とりわけその国境付近を調査し、中古車に焦点をあてたマテリアルの動きについて調査をおこなった。</p> <p>本研究では、「日本から輸出された中古車が中国の周辺国で利用され、そこで廃車・解体されて新たな再生資源となる。そしてそれが国境を越えて中国に渡っているのではないか」、という仮説について検証した。ベトナムから中国へと中古車由来の再生資源が移動しているかどうかについては確認することができなかった。ここでは、中国側から大量の日用品が流入する姿を見るだけであった。ロシアから中国への流れについても目に見える形では確認することはできなかった。とはいうものの、中越・中ロの経済的なつながりは強固なものとしてみてとれた。我々が調査を行ったルート以外にもマテリアルのやりとりは存在することが予想され、今後も時系列的な変化とともに、他地域の動向についても今後調査研究が必要である。</p>					
キーワード FA	自動車リサイクル	国際資源循環	環境経済	中国経済	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 ^{GB}	ベトナムの鉄資源リサイクルコミュニティから見た環境問題							
	著者名 ^{GA}	中谷 勇介	雑誌名 ^{GC}	商経論叢（神奈川大学経済学会）					
	ページ ^{GF}	1~12	発行年 ^{GE}	2	0	0	7	巻号 ^{GD}	42巻4号
雑誌	論文標題 ^{GB}	ベトナムの越境貿易を見る							
	著者名 ^{GA}	阿部 新・浅妻 裕	雑誌名 ^{GC}	月刊整備界					
	ページ ^{GF}	48~52	発行年 ^{GE}	2	0	0	7	巻号 ^{GD}	38巻6号
雑誌	論文標題 ^{GB}	中口国境地域における廃車リサイクルと資源循環の実態調査							
	著者名 ^{GA}	阿部 新・浅妻 裕	雑誌名 ^{GC}	開発論集（北海学園大学開発研究所）					
	ページ ^{GF}	89~117	発行年 ^{GE}	2	0	0	8	巻号 ^{GD}	81号
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	
図書	著者名 ^{HA}								
	書名 ^{HC}								
	出版者 ^{HB}		発行年 ^{HD}					総ページ ^{HE}	

欧文概要 EZ

Our Study tried to research international automobile recycling system in Asia, including China, Vietnam and Russia. In 2007 1.6 millions secondhand cars were exported from Japan. Where is the end of their life?

We tried to reveal our hypothesis that renewable metal from automobile recycling trade in the border between China and Russia (or China and Vietnam). We could see several trade forms there. But a border in Vietnam, the trade contains from daily necessities. And a border in Russia we couldn't see renewable metals trade.

However we could see the current state of automobile recycle system in Vietnam and Russia. And we could reveal the fact that their economic relationship is strengthened in every year. This study revealed international automobile recycling system between China and neighboring countries is progressing.